

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力力で上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和5年2月10日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回次

3日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	日高市役所		代表者名	関口秀昭
担当者部署	総合政策部		連絡先電話番号	042-989-2111
担当者役職	主事補	担当者氏名	加藤さやか	連絡先E-mail
住所	350-1292 埼玉県日高市南平沢1020			

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	宮崎 昌美
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	DX推進のある2040年問題への危機感を認識させ職員の意識改革を目的としていたため、旗振り役となる三役・管理職が身近に感じられるような講師自身の経験や、近隣の市である入間市の実際の取組や効果を交えた具体的な事例が響き、職員がDXを自分事と考えることのできる講演内容となった点。 講師自身も行政職員出身のため、対象の職位別に事情・立場を鑑みた講義内容にマイナーチェンジしていただけた点も良かった。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日 (申請書より)	支援内容 (申請書より)	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年2月22日	講演(実地)	有	令和4年11月4日	566
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)
	令和5年2月9日	講演 (実地)	9時00分	17時00分	60
				活動時間 (分)	420
3-2. 派遣場所	会場名	日高市役所	最寄駅	高麗川駅	
	所在地	埼玉県日高市南平沢1020	最寄駅からの交通手段	徒歩20分	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	日高市職員 課長・主幹向け/主査級以下対象 (職位別)	131 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	DX推進に当たり、全庁的な理解との積極的な参入意識が不可欠であり、職員が自由な発想や意見を共有できる環境づくりと、意識改革・機運醸成が課題となる。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	DXが必要とされる理由と危機感の共有、意識改革。 <主査級以下>改善意欲に結び付く思考に必要なマインドセット、理解・実践すべき事項の伝達と実践的なワークの実施によって、DXを自分事として捉え主体的に動くことのできるDX人材を育成する。 <課長・主幹級>管理者として必要なマインドセット、理解・実践すべき事項の伝達によって、DXを含む総合政策を通して職員にどう降りし、課内の課題を扱うか認識する。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	DX推進講演会<主査級以下向け> ①DXの理解 個人ワーク・グループワーク②ムーンショットの描き方 グループワーク③DX人材の育成 (事例共有) <課長・主幹級向け> ①「自治体DX」と「その背景」を理解する②全庁でDXを進めるために③幹部の皆さんにお願いしたいこと	
支援を受け改善又は解決された内容	市長を含め全職員対象に行なったこと、講師が入間市の具体的な事例を交えて「自治体として実施しなければならぬ自分事」とする意識が芽生えた。実際のアンケート結果でも対象者の97%が今回の	

(具体的にご記入下さい)	「いいはなつない日力事」しする意識がオエんた。実際のアンケート結果として自家自の改善/改善の研修を受けて自ら改善しようとする意識が高まったと回答している。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	一部の他人事と捉える職員に対し、どのような働きかけを行うべきか、誰一人取り残さないDXを進めること	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別紙参照	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	全職員がPDCAを回し、業務効率化を図るマインドセットを持つこと。また、その改革を実現できる柔軟な管理者の姿勢とトップダウン型のDX推進政策。	

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



